

決算補足説明資料

2026年3月期 中間期（FY26Q2）

東証スタンダード | 7561

株式会社ハークスレイ

<https://www.hurxley.co.jp/>

2025年11月12日



目次

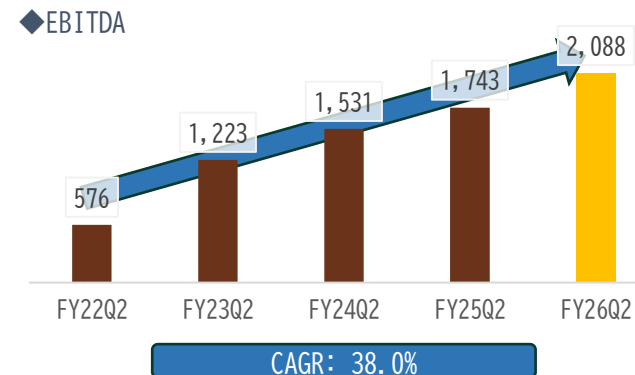
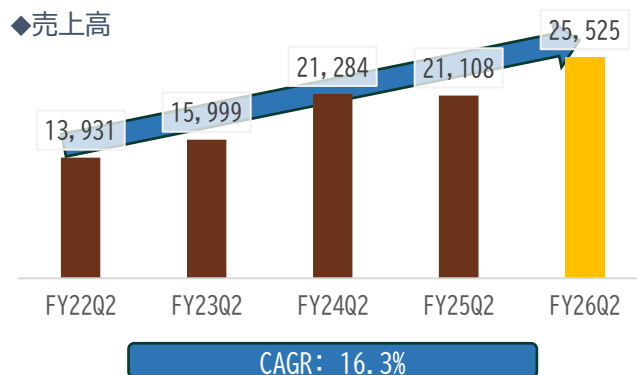
	ページ
01 エグゼクティブサマリー	3
02 売上高・営業利益：対前年同中間期増減要因	4
03 セグメント情報：サマリー	5
中食事業	6
店舗アセット＆ソリューション事業	7
物流・食品加工事業	8
04 2026年3月期通期業績及び配当予想	9
05 売上高・営業利益：四半期積み上げ	10
06 配当金の推移	11
Appendix	12
財務情報	13-18
Topics：大阪・関西万博に協賛・出展	19
Topics：店舗アセット＆ソリューション事業：所有物件	20
Topics：物流・食品加工事業	21
中期経営目標	22-26
Topics：サイトリニューアル	27

エグゼクティブサマリー

- 期初(5月14日)業績予想に対し上振れ着地となり、特に経常利益及び中間純利益は大幅増益
- 売上高、営業利益、経常利益いずれも過去5年(2022年3月期～)中間期において最高
- 中食事業のセグメント利益は、4四半期連続(2025年3月期第3四半期から)黒字で推移

(単位：百万円)	FY25Q2 実績	FY26Q2 実績	増減額	増減率	進捗率 対通期 業績予想値	業績予想値 通期
売上高	21,108	25,525	+4,416	+20.9%	48%	52,700
EBITDA	1,743	2,088	+344	+19.8%	-	-
営業利益	1,028	1,038	+10	+1.0%	55%	1,900
経常利益	1,072	1,115	+43	+4.1%	70%	1,600
親会社株主に帰属する 中間純利益	617	520	△97	△15.8%	52%	1,000

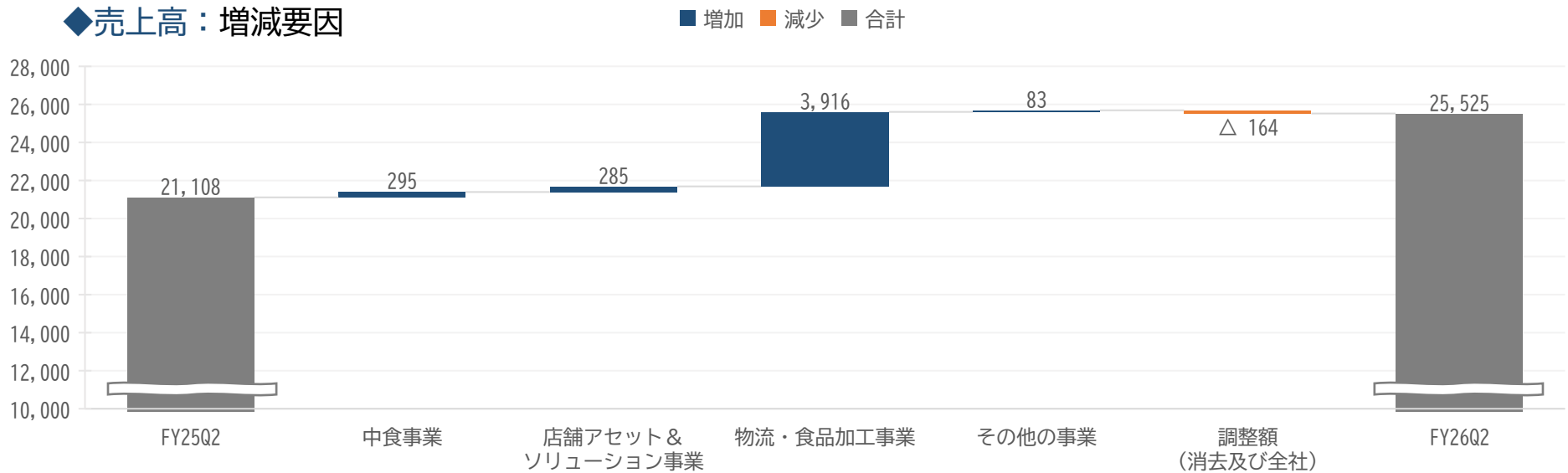
(注) EBITDA: FY26Q2累計実績＝営業利益1,038＋減価償却費754＋のれん償却費295
FY25Q2累計実績＝営業利益1,028＋減価償却費629＋のれん償却費 85



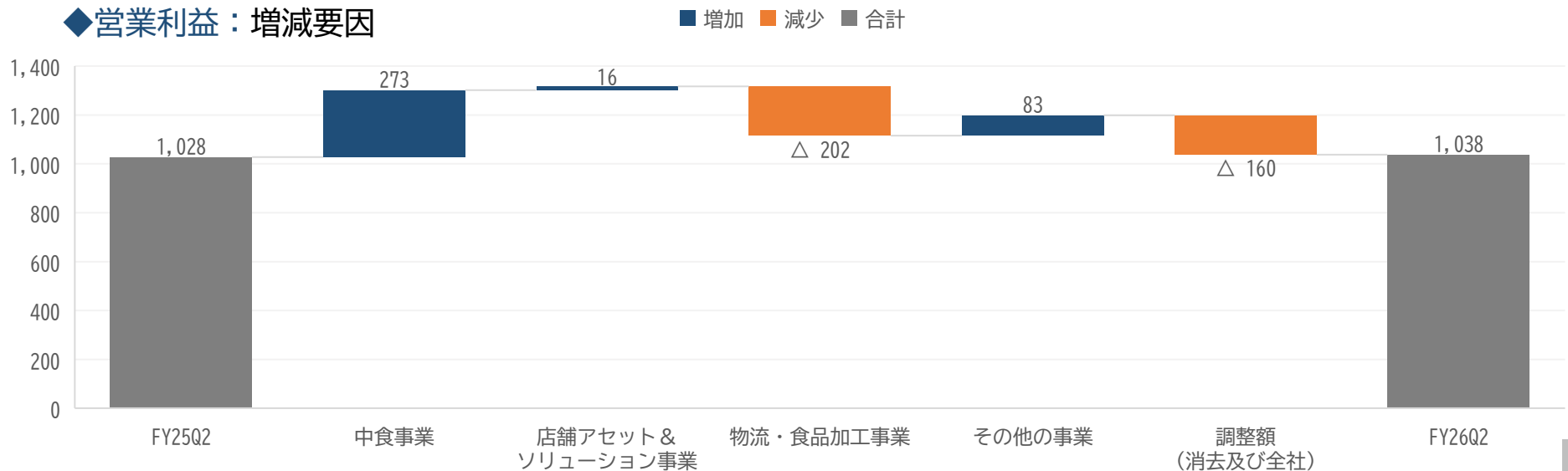
売上高・営業利益：対前年同中間期増減要因

(単位：百万円)

◆売上高：増減要因



◆営業利益：増減要因



セグメント情報：サマリー

(単位：百万円)

セグメント売上高	FY25Q2	FY26Q2	増減額	増減率	増減要因
中食事業	8,344	8,640	+295	+3.5%	・新メニュー好評等により増収
店舗アセット & ソリューション事業	6,092	6,378	+285	+4.7%	・稼働店舗数増加によりストック収入増 ・当年Q2の不動産売却により売上増 ・前年Q1のテナント入れ替え収入（3億円）の剥落
物流・食品加工事業	7,848	11,764	+3,916	+49.9%	・ホソヤコーポレーション連結効果36億円 ・定番商品の販売が好調に推移 ・OEM生産が好調に推移
その他	404	487	+83	+20.6%	
(計)	22,689	27,270	+4,580	+20.2%	
調整額（消去及び全社）	△1,580	△1,745	△164	-	
(計)	21,108	25,525	+4,416	+20.9%	

セグメント利益	FY25Q2	FY26Q2	増減額	増減率	増減要因
中食事業	△119	154	+273	-	・増収及び原価低減により増益
店舗アセット & ソリューション事業	953	969	+16	+1.8%	・稼働店舗数増加によりストック利益増 ・当年Q2の不動産売却により売上増 ・前年Q1のテナント入れ替え収入（3億円）の剥落
物流・食品加工事業	475	272	△202	△42.7%	・ホソヤコーポレーション取得によるのれん償却費増加（2億円）
その他	404	487	+83	+20.6%	
(計)	1,713	1,883	+170	+10.0%	
調整額（消去及び全社）	△684	△845	△160	-	
(計)	1,028	1,038	+10	+1.0%	

セグメント情報：中食事業

CATERING
SUISEN

■ 事業概要：

- ほっかほっか亭部門：創業以来の「真心を込めたお弁当」をはじめ惣菜の製造・販売
- ケータリング・セレモニー部門：パーティー・イベント需要にお応えする仕出し料理の展開

■ 業績：

- 新メニュー好評等により増収
- 増収及び原価低減により増益：4四半期連続（FY25Q3から）黒字で推移

■ トピックス：

- 2025年4月に(株)ティーケーピー様と業務提携契約を締結
- 「大阪・関西万博」大阪ヘルスケアパビリオンへ出展しメディア露出大幅増加
- SNSによる認知度向上施策の推進
- カスタマイズ弁当・ワンハンドBENTO等の新メニューは好調に推移

(単位：百万円)

◆中食事業	FY25Q2	FY26Q2	増減額	増減率
セグメント売上高	8,344	8,640	+295	+3.5%
セグメント営業利益	△119	154	+273	-



↑画像クリックで当社ウェブページへ遷移します



↑画像クリックで当社ウェブページへ遷移します



↑画像クリックで当社ウェブページへ遷移します



↑SNS施策：X(旧Twitter)でのポスト



TKP様と業務提携契約締結

セグメント情報：店舗アセット & ソリューション事業



■ 事業概要：

- 店舗リースをはじめ、人材派遣やPOSレジシステム等、飲食店等の店舗事業者様向けの包括的なソリューション提供

■ 業績：

- 稼働店舗数増加によりストック収入増
- 当第2四半期に不動産1棟を売却

■ トピックス：

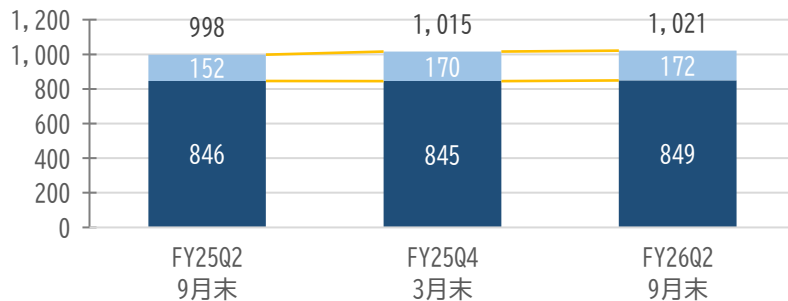
- TRNグループが用地仕入・企画・設計・施工・テナント誘致・管理まで一貫して行う「TRUNK」ブランドの6棟目となる秋葉原の商業ビル「TRUNK秋葉原」（JR秋葉原駅徒歩5分）が竣工し、2025年8月30日にグランドオープン
- TRN Global Career(株)の取締役がビズリーチ主催、日本一のヘッドハンター選出アワードを受賞

(単位：百万円)

◆店舗アセット & ソリューション事業	FY25Q2	FY26Q2	増減額	増減率
セグメント売上高	6,092	6,378	+285	+4.7%
セグメント営業利益	953	969	+16	+1.8%

(単位：店)

稼働店舗数



■ 店舗リース取引店舗数 ■ 不動産管理テナント数



↑画像クリックで記事へ遷移します

TRUNK秋葉原
JR秋葉原駅
電気街北口 徒歩5分



↑画像クリックで記事へ遷移します

セグメント情報：物流・食品加工事業



■ 事業概要：

- 食品加工部門：中華惣菜の製造・販売
- 物流部門・カミッサリー部門：ほっかほっか亭店舗へ納入する食品の加工、スーパー・コンビニエンスストア等からのOEM製造受託をはじめとしたカミッサリーと、商材や食材等の配送を担う物流サービスを提供
- 菓子製造部門：ナッツ・ドライフルーツ等の菓子類の製造・販売

■ 業績：

- 2024年12月にグループ化したホソヤコーポレーションの連結により売上高が増加（36億円）
- ホソヤコーポレーションののれん償却費等による営業利益減

■ トピックス：

- 新商品「ほしいもピールフ레이크」が好調
- 万博にて稲葉ピーナツの「クレイジーソルトナッツ」の小袋を累計15万袋を配布

(単位：百万円)

◆物流・食品加工事業	FY25Q2	FY26Q2	増減額	増減率
セグメント売上高	7,848	11,764	+3,916	+49.9%
セグメント営業利益	475	272	△202	△42.7%



万博で配布した
クレイジーソルト
ナッツの小袋

画像クリックで商品紹介ページへ遷移します↑

↓画像クリックで商品紹介ページへ遷移します



昭和生まれの
贅沢焼売



四川風 麻辣餃子



クレイジーソルト
ナッツ



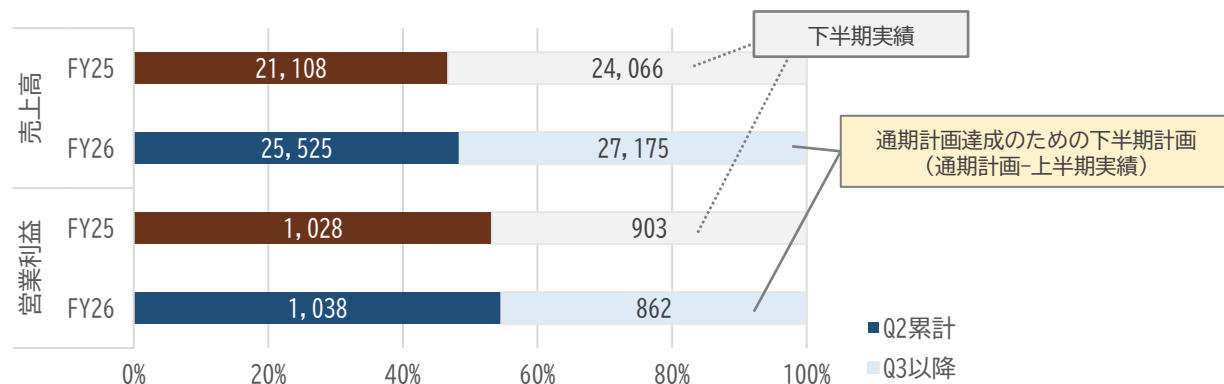
ほしいも
ピールフ레이크



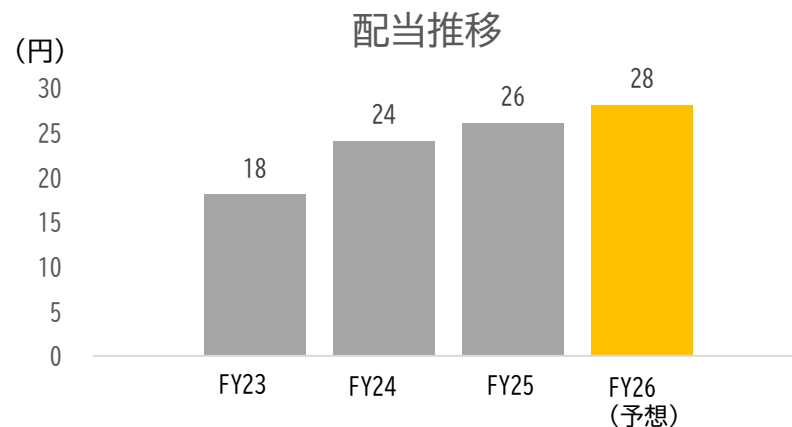
新商品：
こだわりピスタチオ

2026年3月期通期業績及び配当予想：変更はございません

(単位：百万円)	FY23 (実績)	FY24 (実績)	FY25 (実績)	FY26 (予想)	増減率 (26:25)
売上高	35,613	46,761	45,175	52,700	+16.7%
営業利益	1,460	2,436	1,931	1,900	△1.6%
経常利益	1,579	2,588	2,082	1,600	△23.2%
当期純利益	1,047	1,601	1,204	1,000	△17.0%



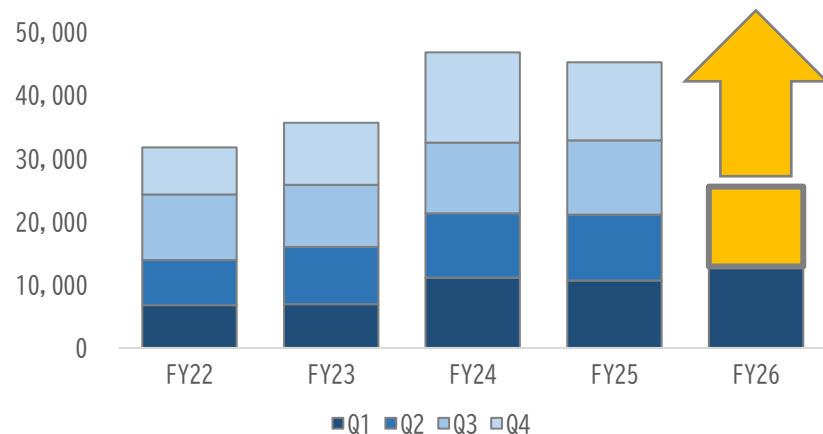
(円)	年間配当	第2四半期末	期 末
FY26 (予想)	28	14	14
FY25 (実績)	26	13	13
FY24 (実績)	24	9	15
FY23 (実績)	18	9	9



売上高・営業利益：四半期積み上げ

売上高：四半期積み上げ

(単位：百万円)

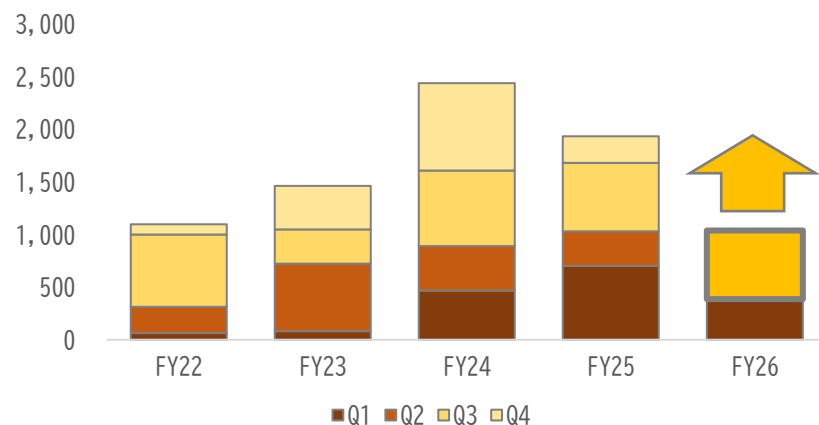


	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26
Q1	6,754	6,927	11,136	10,664	12,893
Q2	7,177	9,072	10,148	10,444	12,631
Q3	10,329	9,823	11,212	11,750	
Q4	7,472	9,791	14,265	12,317	
通期	31,732	35,613	46,761	45,175	52,700

(注) FY26の通期数値は現時点での予想値

営業利益：四半期積み上げ

(単位：百万円)



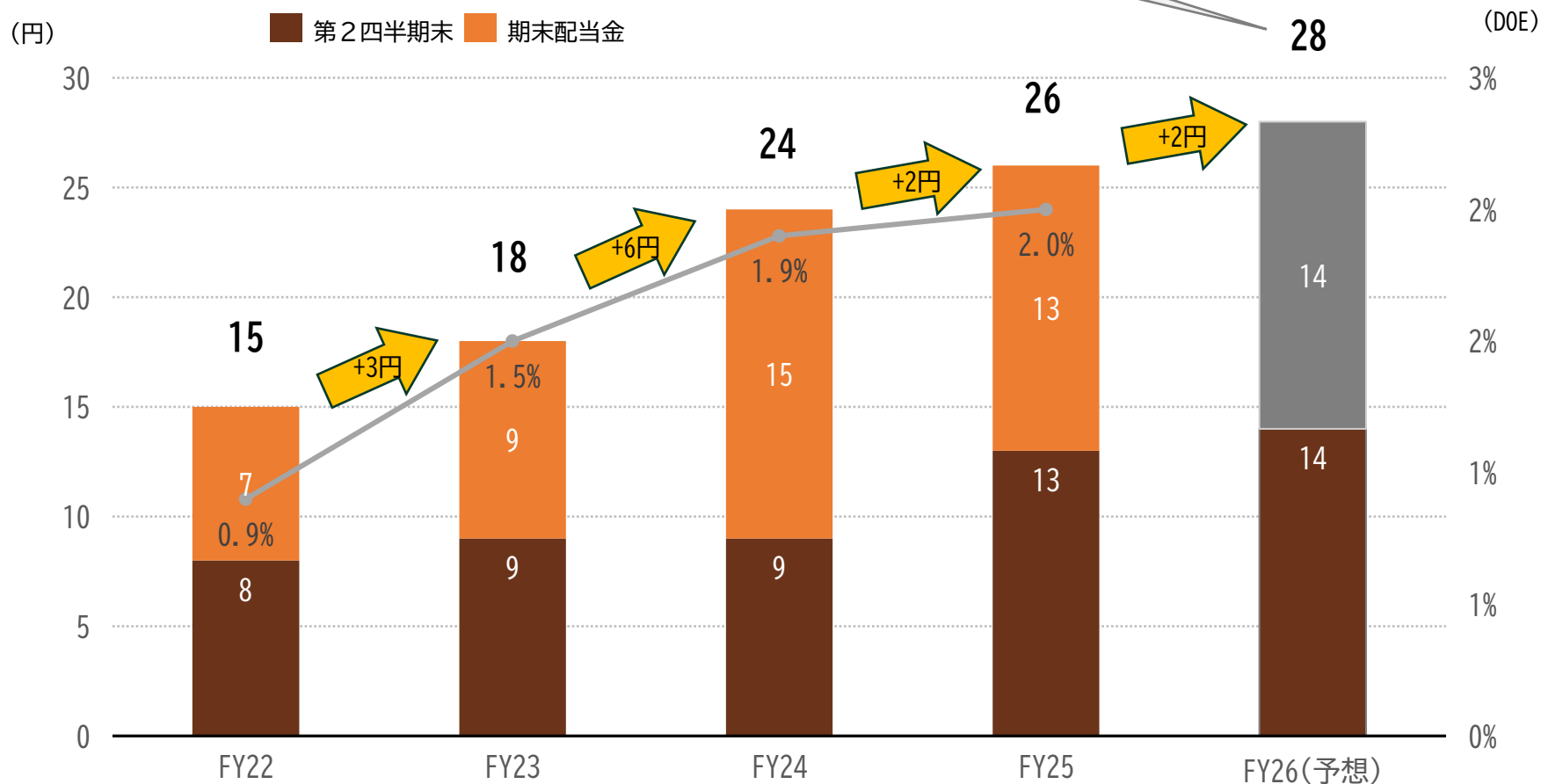
	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26
Q1	63	81	467	700	386
Q2	251	642	424	328	651
Q3	684	324	714	651	
Q4	97	413	831	252	
通期	1,095	1,460	2,436	1,931	1,900

(注) FY26の通期数値は現時点での予想値

配当金の推移

2022年3月期より連続増配

年間配当金(円)

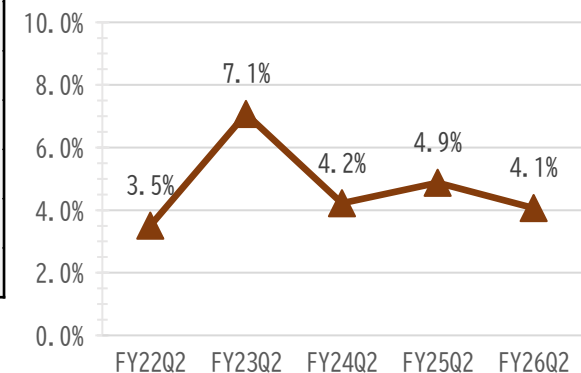
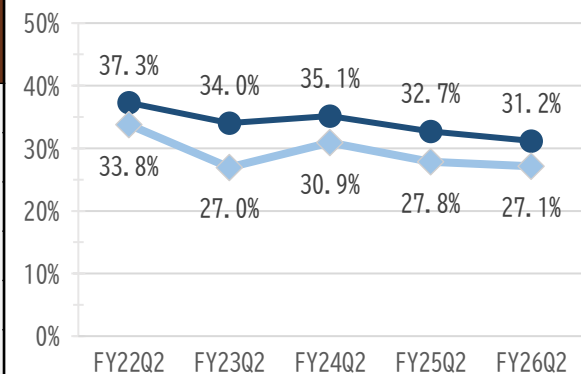


配当方針：「1株当たり当期純利益」の伸長に合わせ、前年を下回らない増配を目指します

Appendix

損益計算書(対前年中間期増減)

(単位：百万円) (増減率：%)	FY25 Q2累計	FY26 Q2累計	対前年同期	
			増減額	増減率
売上高	21,108	25,525	+4,416	+20.9%
売上総利益	6,905	7,961	+1,055	+15.3%
販売費及び一般管理費	5,877	6,923	+1,045	+17.8%
営業利益	1,028	1,038	+10	+1.0%
営業外収益	167	308	+140	+83.5%
営業外費用	124	230	+106	+86.0%
経常利益	1,072	1,115	+43	+4.1%
特別利益	99	19	△79	△80.0%
特別損失	65	49	△15	△24.1%
税引前中間純利益	1,105	1,086	△19	△1.8%
法人税、住民税及び事業税	415	651	+236	+56.8%
法人税等調整額	72	△80	△152	△210.9%
非支配株主に帰属する中間純利益	-	△5	△5	-
親会社株主に対する中間純利益	617	520	△97	△15.8%



営業利益率

貸借対照表(対前期末増減)

(単位：百万円)

資産の部	FY25Q4	FY26Q2	増減
流動資産	29,557	28,850	△706
現金及び預金	12,338	12,465	+126
受取手形、売掛金及び契約資産	3,827	3,594	△233
棚卸資産	11,576	11,101	△475
その他	1,814	1,689	△124
固定資産	43,870	43,539	△330
有形固定資産	24,879	25,074	+195
建物及び構築物（純額）	10,305	10,398	+92
機械装置及び運搬具（純額）	1,475	1,395	△79
土地	12,573	12,576	+2
その他	525	704	+179
無形固定資産	10,174	9,857	△316
借地権	3,463	3,463	-
のれん	6,470	6,174	△295
その他	239	218	△21
投資その他の資産	8,816	8,607	△208
投資有価証券	3,244	2,910	△333
敷金及び保証金	4,933	4,858	△74
その他	639	838	+199
資産合計	73,427	72,390	△1,036

負債・純資産の部	FY25Q4	FY26Q2	増減
流動負債	16,886	16,224	△661
買掛金	3,376	3,283	△92
1年内償還予定の社債	14	14	-
短期借入金	4,233	3,783	△450
1年内返済予定の長期借入金	4,536	4,483	△53
その他	4,725	4,659	△65
固定負債	31,878	31,171	△707
社債	37	30	△7
長期借入金	26,484	25,756	△727
長期預かり保証金	4,353	4,317	△35
その他	1,004	1,066	+62
負債合計	48,765	47,395	△1,369
株主資本	24,475	24,754	+279
その他の包括利益累計額合計	176	100	△75
新株予約権	4	6	+1
非支配株主持分	6	132	+126
純資産合計	24,662	24,995	+332
負債・純資産合計	73,427	72,390	△1,036

自己資本比率：当期末 34.3% / 前期末 33.6%

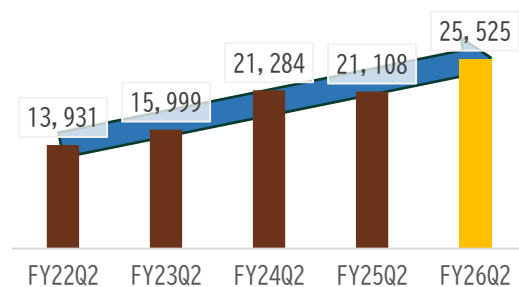
キャッシュ・フロー計算書(対前年中間期増減)

(単位：百万円)	FY25	FY26	対前年同期	
	Q2累計	Q2累計	増減額	増減率
営業活動によるCF	437	1,984	+1,547	+354.2%
投資活動によるCF	△698	△530	+168	△24.1%
財務活動によるCF	△415	△1,324	△909	+219.2%
現金及び現金同等物の期首残高	14,210	11,936	△2,274	△16.0%
現金及び現金同等物の期末残高	13,534	12,062	△1,471	△10.9%

主要指標推移

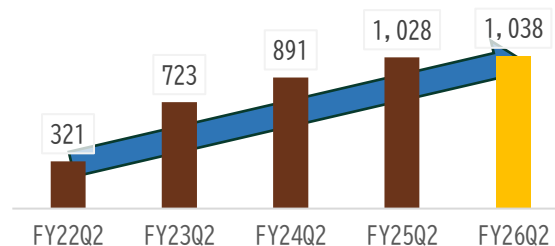
(単位：百万円)

売上高



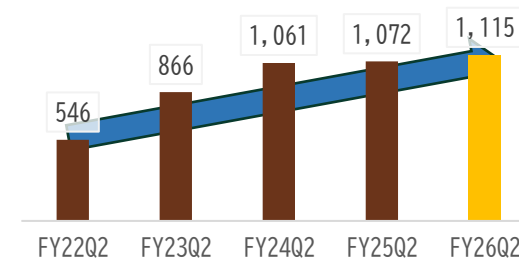
CAGR: 16.3%

営業利益



CAGR: 34.1%

経常利益

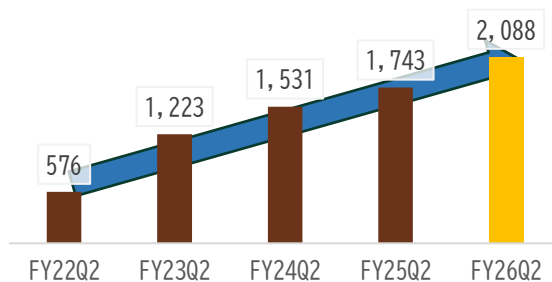


CAGR: 19.5%

(注) EBITDA:

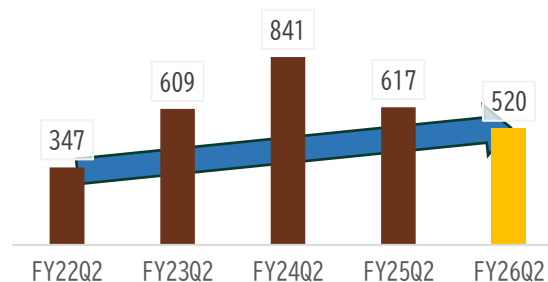
FY26Q2実績＝営業利益1,038＋減価償却費754＋のれん償却費295

EBITDA



CAGR: 38.0%

中間純利益

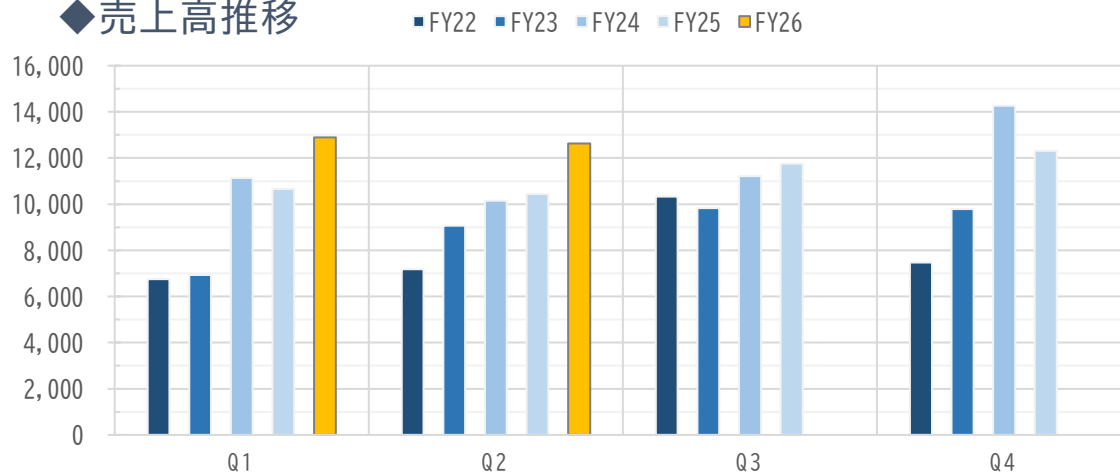


CAGR: 10.6%

売上高・営業利益：四半期単位推移グラフ

(単位：百万円)

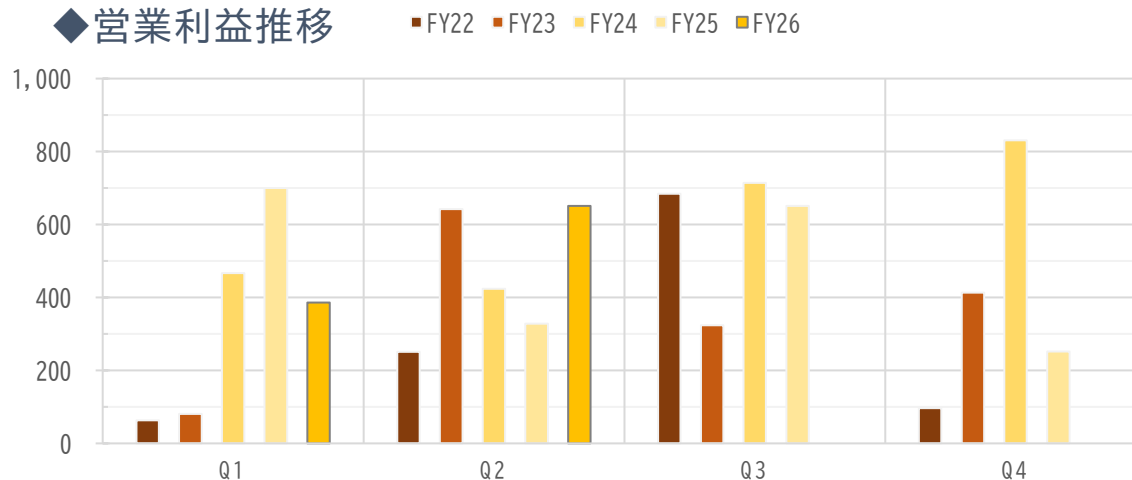
◆売上高推移



	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26
Q1	6,754	6,927	11,136	10,664	12,893
Q2	7,177	9,072	10,148	10,444	12,631
Q3	10,329	9,823	11,212	11,750	
Q4	7,472	9,791	14,265	12,317	
通期	31,732	35,613	46,761	45,175	52,700

(注) FY26の通期数値は現時点での予想値

◆営業利益推移



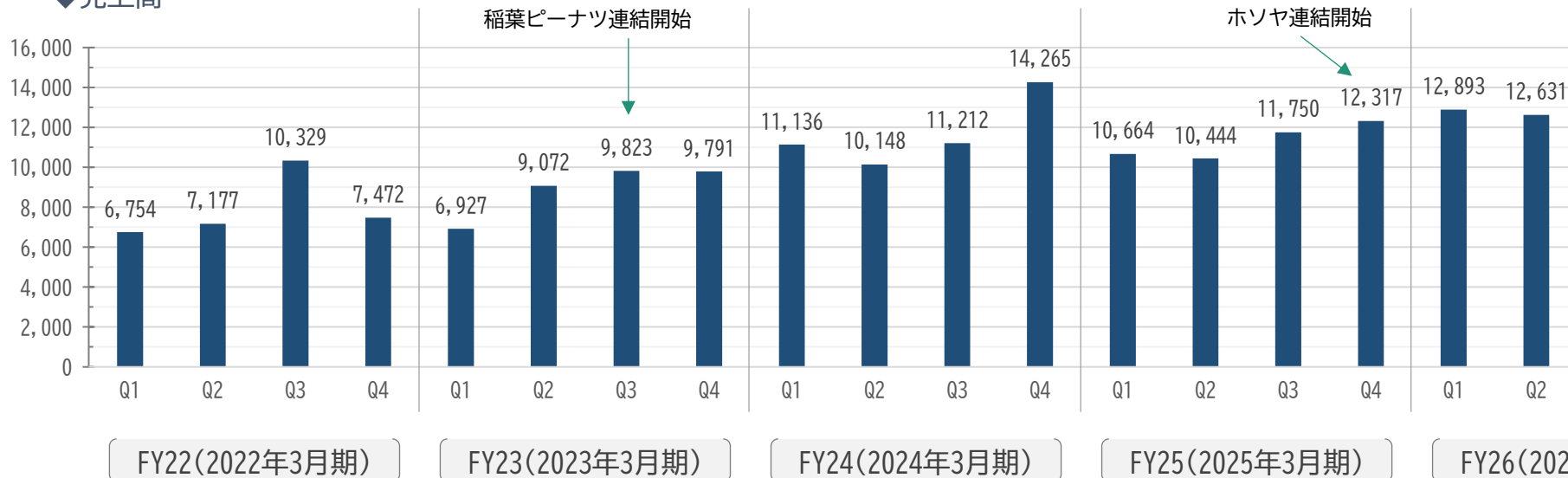
	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26
Q1	63	81	467	700	386
Q2	251	642	424	328	651
Q3	684	324	714	651	
Q4	97	413	831	252	
通期	1,095	1,460	2,436	1,931	1,900

(注) FY26の通期数値は現時点での予想値

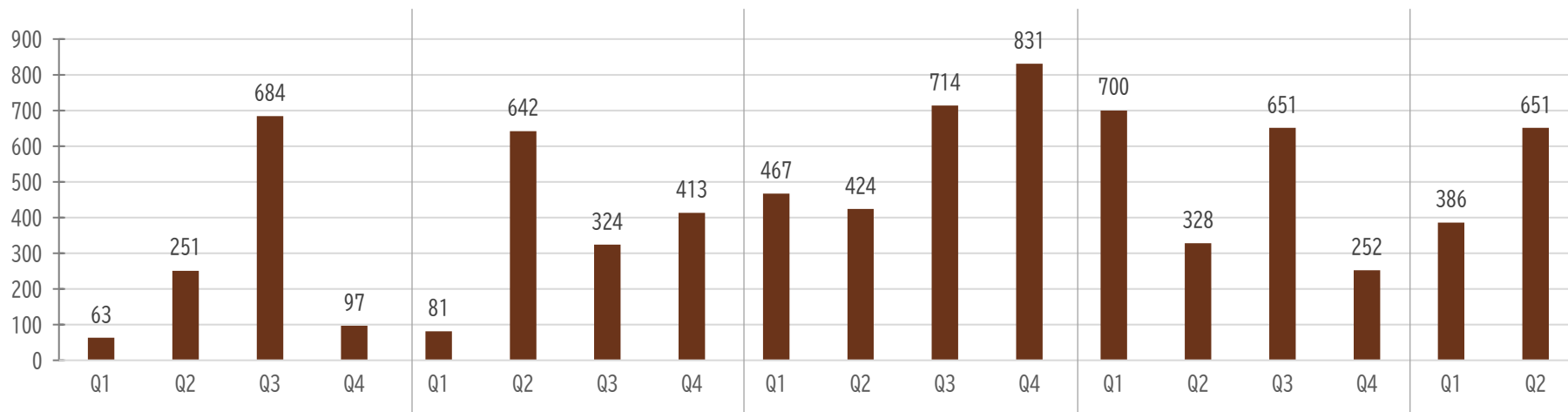
売上高・営業利益：期別四半期単位推移グラフ

(単位：百万円)

◆売上高



◆営業利益



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） 大阪ヘルスケアパビリオン「ミライの食と文化ゾーン」に協賛・出展

■ 会場内店舗「ほっかほっか亭 MADE by HURXLEY」販売商品



「ほっかほっか亭 MADE by HURXLEY」外観



のり弁当の元祖！ほっかほっか亭がつくる未来のお弁当

ワンハンド BENTO

のり
海苔弁

オープン記念 特別価格

¥500

ワンハンドBENTO「海苔弁」



「ほっかほっか亭 MADE by HURXLEY」販売商品

「店舗アセット&ソリューション事業」所有物件(下記掲載は一部)

→各画像クリックで紹介ページへ遷移します



所有物件

TRUNK秋葉原

東京都千代田区外神田3-12-2

JR各線 秋葉原駅 徒歩5分



所有物件

TRUNK本厚木

神奈川県厚木市中町2-1-18

小田急小田原線 本厚木駅 徒歩1分



所有物件

TRN名古屋栄

愛知県名古屋市中区栄3-8-3

名古屋市営地下鉄 栄駅 徒歩3分

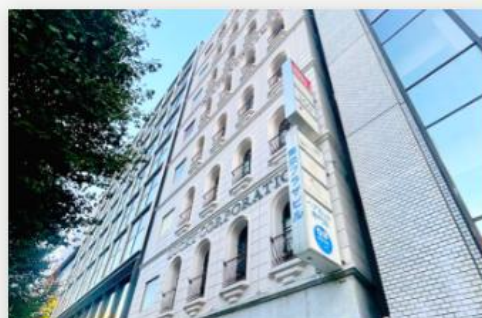


所有物件

TRN東池袋

東京都豊島区東池袋1-9-3

JR 地下鉄各線 池袋駅 徒歩3分



所有物件

TRN新宿プラザ

東京都渋谷区代々木2-10-10

JR 新宿駅 4番出口 徒歩1分



所有物件

TRN福岡西中洲

福岡県福岡市中央区西中洲1-4

地下鉄七隈線（3号線）天神南駅 徒歩6分

地下鉄空港線（1号線）中洲川端駅 徒歩8分

◆実績紹介：
[リンク](#)

物流・食品加工事業



(株)ホソヤコーポレーション



シュウマイ潤さんの来社

2025年10月17日、シュウマイ研究家として活躍中のシュウマイ潤さんを弊社工場にお招きし、製造現場の見学と座談会を実施しました。 ([リンク](#))

令和7年度「食品衛生事業功労者・食品衛生優良施設」として表彰されました

このたび、株式会社ホソヤコーポレーションは、厚生労働省と公益社団法人日本食品衛生協会が主催する令和7年度「食品衛生功労者・食品衛生優良施設表彰」において、「食品衛生優良施設」として表彰いただきました。 ([リンク](#))



inaba

稲葉ピーナツ(株)



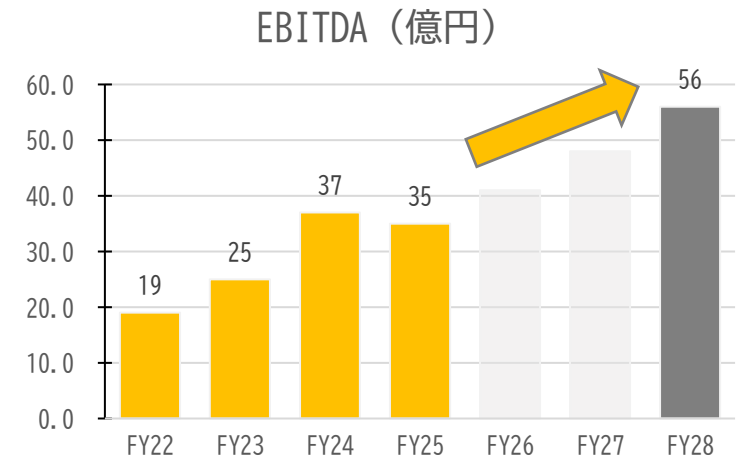
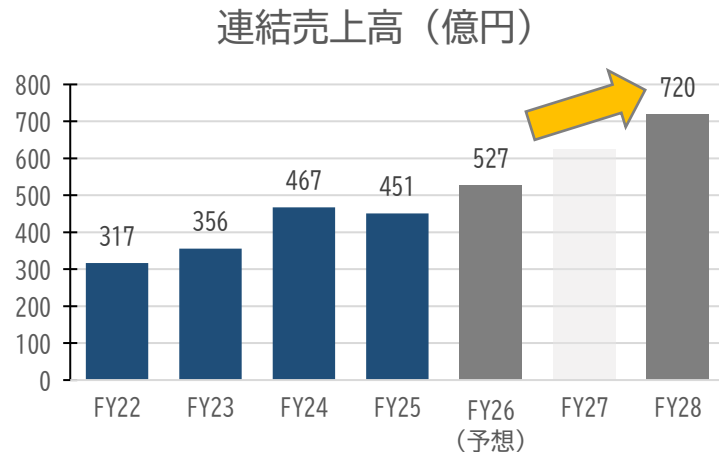
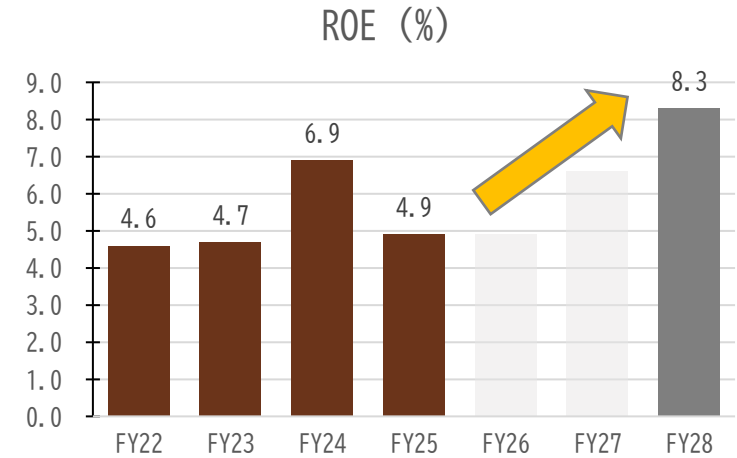
「クレイジーソルトナッツ」を万博にて15万袋配布

「大阪ヘルスケアパビリオン」内ミライの食と文化ゾーンで実施したMR（複合現実）体験の特典として、ご参加いただいたお客様にクレイジーソルトナッツをプレゼントいたしました。 ([リンク](#))



2028年3月期末における経営指標・目標

	経営指標	経営目標
資本効率	ROE	8.30%
株主還元	1株当たり年間配当金	「前年を下回らない増配を目指す」 35円
	DOE	2.10% ※小売業中央値 2.0%
	自己株式取得	機動的に実施
成長投資	成長投資	2025年～2028年累積 178億円（M&A120億円、 設備投資58億円）
売上・利益	売上、各利益とも過去最高更新	
	売上	720億円
	EBITDA	56億円
	当期純利益	25億円
収益力	EPS	134.5円



成長戦略：新領域拡大 - 物流・食品加工事業

- 事業領域（ポートフォリオ）を拡大し、事業成長・収益拡大により企業価値を高め、持続的成長を目指す
- 経営基盤の強化（足場固め）による利益拡大



(株)ホソヤコーポレーション



昭和生まれの
贅沢焼売



四川風 麻辣餃子

贅沢焼売シリーズ等国内チルド焼売市場シェア1位

- 2024年12月株式取得、当社グループ会社化
 - FY25Q4から連結
- 安定的に成長が見込める惣菜市場において確固たるポジションの確立
- 食品製造・冷凍冷蔵食品などの事業領域に積極投資
- ご参考：
 - 「株式会社ホソヤコーポレーションの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」 ([リンク](#))



稲葉ピーナツ(株)



2024年9月18日発売の日経MJ「バイヤー調査 ミックスナッツ」にて、「クレイジーソルトナッツ（個包装）」が総合評価で首位獲得

- 2022年11月株式取得、当社グループ会社化
 - FY23Q3から連結
- ご参考：
 - 当社リリース「稲葉ピーナツ「クレイジーソルトナッツ（個包装）」が首位獲得！日経MJに掲載されました。」 ([リンク](#))
 - 「稲葉ピーナツ株式会社及び株式会社アイファクトリーの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」 ([リンク](#))

セグメント別事業戦略

■ 成長投資により、物流・食品加工事業の売上構成割合の拡大

■ 中食事業： 34% → 25%

- 新規顧客層の開拓
- デジタル販促の積極的実施
- 大型パーティー、イベントの需要取り込み 等

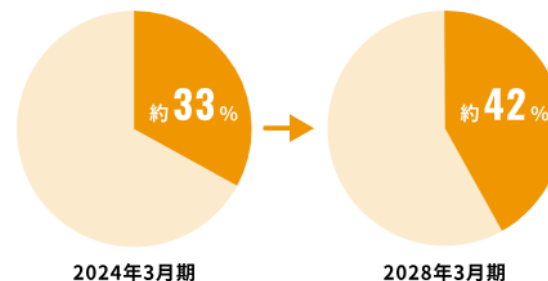
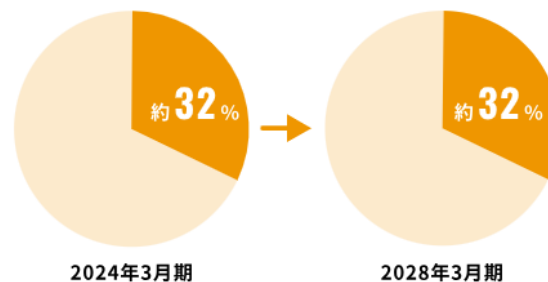
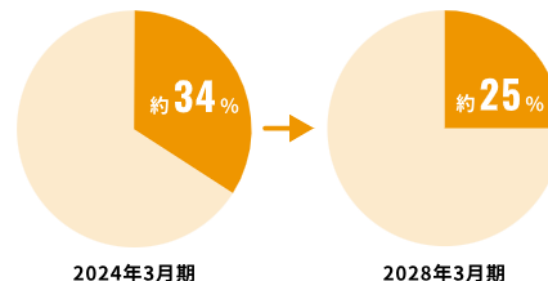
■ 店舗アセット&ソリューション事業： 32% → 32%

- スtock収入の拡大
- 店舗運営の多面的ソリューションの提案
- サービス業における人材不足問題に対応した特定技能外国人就労支援等人材紹介ビジネス 等

■ 物流・食品加工事業： 33% → 42%

- 販売好調な定番商品の一層の拡大（販売先、受注数）
- OEM製造受託・カミッサリー事業の売上拡大
- 継続的なヒット商品の開発 等

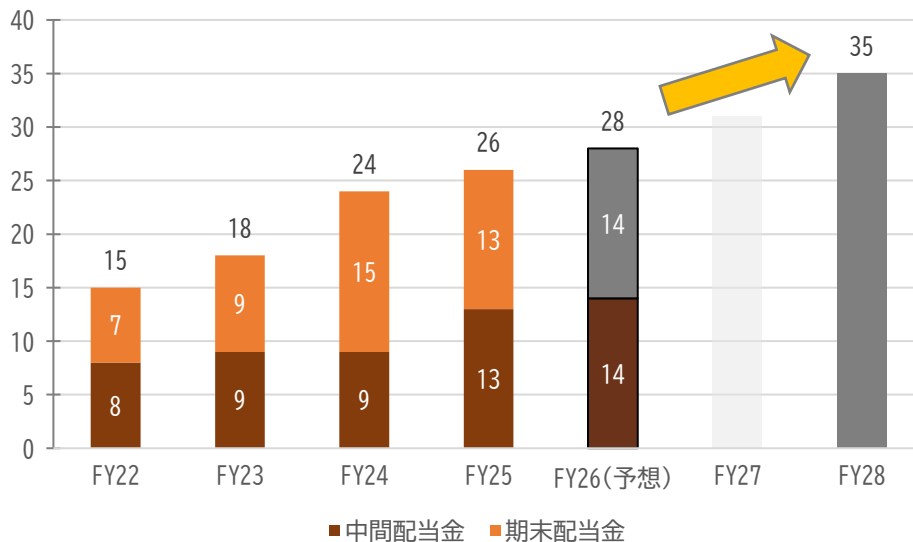
◆ 売上高構成比



財務戦略 - 1

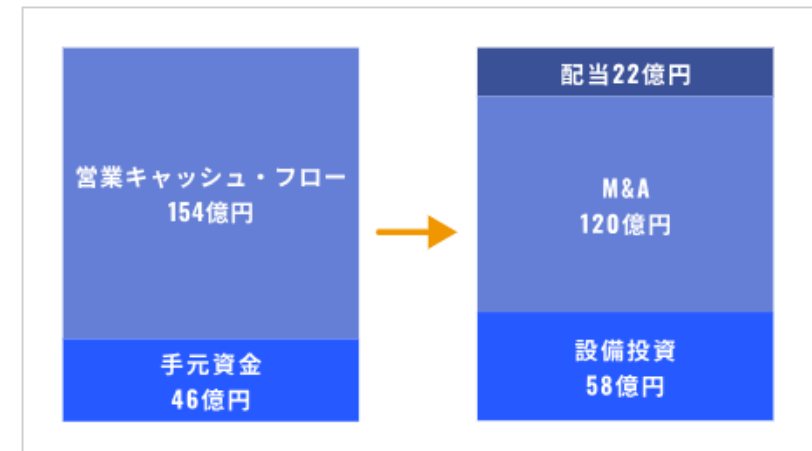
- **株主還元**：1株当たり当期純利益（EPS）の伸長に合わせ、現金配当につきましては、**前年を下回らない増配を目指す**
- **自己株式の取得**：資本水準や株式市場環境及びROE，EPSの伸長等への効果を総合的に勘案し**機動的に実施する方針**
- **キャッシュフローアロケーション**：本中期経営目標4ヶ年（2025年3月期～2028年3月期）で、**営業キャッシュフロー154億円と手元資金を、株主還元22億円、成長投資に178億円（M&A 120億円、設備投資等 58億円）程度を振り向け**

株主還元：配当推移（単位：円）



キャッシュ・フロー・アロケーション

2025年～2028年の累積



財務戦略 - 2

- 資本コストを意識した経営：成長投資による利益拡大と資産効率改善により、2028年3月期末にROE8.3%に引き上げ（自社調べ：2023年全業種中央値 7.3 %、小売業 6.7 %）
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み方針：開示済み
 - 直近2025年5月14日のアップデートの詳細はリンク先もご参照ください：[リンク](#)
 - 当社グループが進める成長戦略が浸透しておらず、評価の獲得に至っていない
 - 投資家の皆様が考えられている当社グループの価値と当社が考える価値の間にギャップが生じている

今後のPBR向上に向けた取組み

- 投資家の予測可能性の向上
 - 計画の確度を向上させ実績との乖離を少なくし、信頼感を確保する
- ROE向上（2028年3月期経営目標8.3%の達成）
 - 中期経営目標に掲げる成長投資実行による収益の拡大と、資本効率向上の両輪でROEの向上を図る（2024年6月公表の「中期経営目標（2028年3月期最終年度）」の推進）
- 当社グループに蓄積される経営資産を最大限効率的に活用し、価値創造のための最適な事業ポートフォリオを構築
- PER向上による株式市場の評価獲得
 - 情報提供機会を拡充し、投資家の皆様へ当社の成長性の理解促進を図り成長期待感を醸成

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
(アップデート)

HURXLEY

2025年5月14日

株式会社ハークスレイ
証券コード：7561
東証スタンダード

[\(リンク\)](#)

2025年7月29日、株主・投資家の皆さまに当社についてよりご理解を深めていただけるよう、
コーポレートサイト・IRサイトをリニューアルいたしました。ぜひご覧ください。

注目ポイント

- ハークスレイ早わかり : [リンク](#)
- 成長戦略 : [リンク](#)
- 中期経営目標 : [リンク](#)
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み方針 : [リンク](#)
- 業績・財務ハイライト : [リンク](#)
- 月次報告（店舗推移） : [リンク](#)

- IRページ :
<https://www.hurxley.co.jp/ir-information/>



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ハークスレイ IR室

E-mail: ir_info@hurxley.co.jp

IRページ: https://www.hurxley.co.jp/ir_information/